

柿村重松 かきむら じゅうしょう 國文學者。明治十一年一月十四日佐賀縣唐津生乳、

昭和六年七月二十日自殺（一八七九—一九三二）。高等師範學校研究科卒。明治

二十九年陸軍教授、大正十一年福岡高等學校教授。翌年『本朝文粹註

釋』より帝國學士院恩賜賞受賞、また『倭漢朗詠集考證』（大正十

五年刊）が知られる。

他に『鼓吹維新烈士詩傳—附浩然氣要論』（大正七年十一月十五日帝

國教育研究會）、『不動心論』（昭和四年八月五日各學會出版部）、

『上代日本漢文學史』（山岸謙十校訂、昭和二十二年七月二十八日

本書院）等。